

グローバルネットワーク

当行は、22海外支店、3出張所、10駐在員事務所、18現地法人からなる、海外25カ国を網羅するネットワークを十分に活用し、銀行・証券・信託・投資顧問・リース等、各地域の様々なニーズに応じた専門性の高いグローバルサービスを提供しております。

金融最先端を行く米州

金融の最先端市場であり、絶えず、新しいニーズが生み出される米州。IBJ興銀グループは、国籍を越えた幅広いお取引先に対して、金融技術を駆使した、高度なファイナンス・サービスを米州で提供しております。

インベストメント・バンキング

通常のコマーシャル・バンキングに加え、証券化、リース、シンジケーション、プロジェクト・ファイナンスなど多様化・専門化する米州地域のお取引先のニーズに対応するべく米州インベストメントバンキング部を1997年10月に設立致しました。同部は、最新のテクノロジーを駆使したインベストメント・バンキングを展開しており、例えば証券化では、3月に邦銀としては初めて単独で米国において13億ドルの貸出債権証券化案件(CLO)をクロースしております。

世界規模での営業展開サポート

世界に広がるIBJネットワーク網を駆使し、米国企業の、日本をはじめとする世界各国への営業展開を積極的にサポートしております。特に当行の中国進出企業へのサポート体制には定評があり、これまで多くの米国企業から依頼を受けております。

また、本邦企業の米州への展開に関しては、通常の進出サポートに加え、証券化プログラム、リースファイナンス、デリバティブズ等を駆使した、金融最先端市場米州ならではの高度なサービスを提供しております。



世界のIBJ、米州のIBJ

お取引先のグローバルな営業展開への支援に加え、更に「世界のIBJ、米州のIBJ」として、米州での様々な金融分野でIBJグループは活躍しております。

例えば、証券子会社であるA.G.ランストンはプライマリーディーラーとして米国債の引受・販売業務を行うとともに、シカゴの世界2大先物取引所の清算会員として、先物・オプションの関連業務を行っております。

また、中南米のいわゆる「エマージング・マーケット」におきましても、資源開発プロジェクトや国有企業民営化プロジェクトに対して、本行とつながりが深い公的機関等と協力して、積極的にサポートしております。

EU通貨統合で変革を迎える欧州

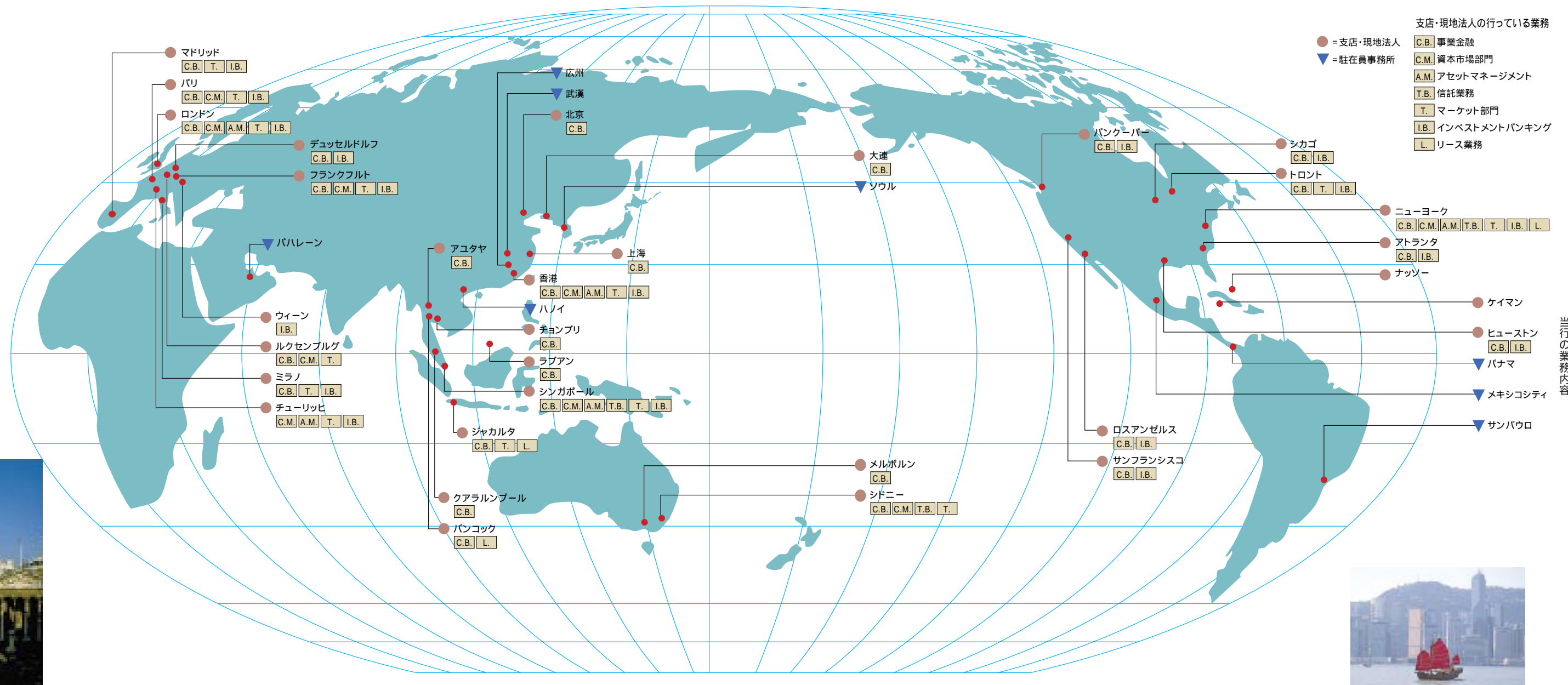
1999年1月より始まるEU通貨統合の第1陣参加国(ドイツ、フランス等11カ国)も決まり、グローバルなキャピタルマーケットを備えた欧州が大変革期を迎えています。この変革期をビジネスチャンスと捉え、これまで培った欧州の土壌での金融ノウハウと全世界のIBJネットワークを駆使し、お取引先の様々なニーズにお応えしていきたいと考えております。

プロジェクト・ファイナンス

産業の自由化、クロスボーダー化を背景として、欧州・中東各地でプロジェクト・ファイナンス案件が増加しております。グローバルなベースで産業界と密接な関係を維持して参りました当行は、この動きに積極的に対応し成果を挙げております。例えば、カタールでのラス・ラファンLNGプロジェクト、サウジアラビアでは、基礎化学公社関連の石油化学プロジェクト等でリード・アレンジャーを務め、1997年は英国でのバリー発電所プロジェクトでディール・オブ・ザ・イヤーを受賞致しました。

キャピタル・マーケット

EU通貨統合に向けて、欧州のキャピタル・マーケットも大きな変化を迎えています。IBJグループでは、イギリス、ドイツ、フランス、スイス、ルクセンブルグの現地



子会社を柱に、仕組債のアレンジメント、高スプレッド・ボンドのトレーディング等プロダクトの品揃えを充実させております。また、投資顧問につきましても、IBJグループ内の運用ノウハウを活かし投資家の皆様の運用ニーズに的確にお応えし、着実に成果を挙げております。

欧州の明日とIBJ

EU通貨統合を経て、欧州資本・金融市場のクロスボーダー化が更に進展していくものと思われま。このような状況の中、IBJグループは、最先端のインベストメントバンキングプロダクトを駆使し、お取引先の高度化するファイナンス・ニーズにお応えできるような営業を今後とも推進して参ります。その為にも、ロンドン拠点の営業機能の充実や欧州全体の営業の効率化を高めるよう努力を続けて参ります。

アジア・オセアニア

～新たな成長軌道への回復に向けた取り組みへ～

アジア・オセアニア地域では、アジア通貨経済の安定化と新たな経済成長軌道への回復に向けた取り組みが行われております。かかる状況下、IBJグループは新たな金融ニーズにもお応えできる体制を構築するとともに、国際機関とも協調する等、直接・間接に企業のグローバルな活動をアシストしております。

地域インフラ、産業開発への取り組み

長期事業金融のノウハウを活かし、アジア・オセアニア各国の電力、資源・エネルギー、運輸、通信事業等のプロジェクトを積極的に後押ししております。1997年7月に中国に返還され新時代を迎えた香港の新空

港関連プロジェクト、また21世紀に向けた中国長江の上中流域開発への取り組み等もその一例です。

また、当行はアジア域内の産業開発金融に携わる有力銀行8行とともに、1995年に設立したアジア産業開発金融機関協議会(Association of Development and Industrial Banks in Asia: ADIBA)を通じて域内開発プロジェクトの共同推進、金融技術面での情報交換、人材交流を行う一方、各国の経済、投資環境についての共同調査、シンポジウムの開催等を通じ、

ADIBAメンバー銀行	
日本興業銀行	バンク・ネガラ・インドネシア
韓国産業銀行	プミプトラ・マレーシア銀行
中国国家開発銀行	フィリピン開発銀行
シンガポール開発銀行	インド産業開発銀行
バンコック銀行	

当行のお取引先のアジア地域への直接投資を積極的に支援しております。

直接投資支援

内外企業のアジア・オセアニア地域への円滑な進出、直接投資を支援する為に、事業内容、資金調達におけるアドバイスはもとより、現地パートナーの紹介、交渉等のアドバイザー業務を積極的に行っております。日本国内のお取引先のみならず、欧米系等マルチナショナル企業の中国進出のアドバイザーにも選ばれるなど、クロスボーダー取引に貢献しております。

アジア・オセアニアの特性を活かした営業体制展開

全世界において均質化された高度なサービスのレベルを保つと同時に、アジア・オセアニア地域の特性

当行の業務内容

を活かした業務内容の充実を目指しております。バンコック支店のフルブランチ化、上海支店での人民元取り扱い業務開始やキャッシュマネジメントサービスの開始等、アジア通貨に対するお取引先のニーズにお応えできる体制を整えて参りました。

また、香港、シンガポールにはプロジェクト・ファイナンス、デリバティブズ等のインベストメントバンキング業務の機能を集中し、アジア全域をカバーするとともに、東京を基点にニューヨーク、ロンドンとの横断的なネットワークにより、グローバルな金融サービスを提供しております。

中国との強いパイプ

当行は、20年以上の長きにわたり、中国の産業基盤作り、経済発展への協力を目的に、経済政策への提言を行う一方、電力・通信等のインフラ整備や資源開発プロジェクト等の資金調達アレンジャーとして多くの案件を手掛けてきております。中国政府機関・金融機関・企業等との業務協力協定は60にのぼり(1998年4月現在)、また、これまでに当行が受け入れた研修生、セミナー参加者も延べ1,000名以上に及んでいます。

こうした実績に対し中国側より高い評価を受けるとともに、外銀としていち早く北京支店を開設、上海支店においては、外銀第一号として人民元取り扱いが認められました。このような中国に関する豊富なノウハウとコネクションは、日系のみならず、欧米系のお取引先の中国でのビジネス展開においても大いにご利用頂いております。

最近の中国主要プロジェクト・アレンジ実績

電力	蕪湖火力発電、河南地熱発電、二灘水力発電
通信	上海ベル電話設備、広東ノーテル電話交換器設備
石油・石炭	平朔安太堡炭坑開発、渤海湾石油開発
鉄鋼	梅山製鉄所熱延ライン
セメント	東莞華能セメント

産業金融セミナー

当行の産業金融セミナー(Industrial Finance Seminar:IFS)は36年の歴史を有し、これまでに約80カ国から約2,200名を超える参加があり、現在各国の枢要なポストで活躍されている参加者も枚挙にいとまがありません。

IFSの主な目的は、我が国の経済・産業・金融及び文化の実情を広く紹介し、参加機関と当行の間の相互理解の強化を図ることにあります。当行関係各部のほか、大学等からの講師による講義を行い、更に、参加者にとって参考となる業種の工場見学も実施しています。

現在、開催しているIFSは、参加者のニーズ、研修内容に応じ数種類に分け、年間を通して計十数回実施しています。



これらのセミナーを通じて築かれた人的ネットワークは、当行の最も貴重な財産の一つであり、構造改革を目指す日本に対する各国からの期待や各国との相互理解の必要性が一段と高まりつつある中、IFSの役割は、今後も引き続き重要なものと位置付けられております。